2020年12月17日

調査者:

(街路樹診断協会)

基	路絲	泉名		国道20号(内堀通	i9)	樹木番号	GAUH0113-015	全景写真		
本	樹種	重名			場所前回調査年		東京都千代田区			
	植栽	战年						THE REPORT OF THE PARTY OF THE		
	管理	里履	楚			樹木価値	街路樹・景観			
		樹高				12 m	1	\$ 4 /		
		幹周	引(幹径)			2.2 1 (0.7) m	~~ \		
	樹木形状	枝引	長り			10 n	1			
		枝ヿ	下高		J	送道 5 m・車	道 5 m			
		不自	自然な傾斜		(有	(安全・危険)			
生		樹高	高/幹径			12 / 0.7	= 17.1			
育		枝長/枝径				_				
状		樹齢				_				
況		樹冠形状								
		華の生育状況		a (良い)	b (普通)・) · e (枯死)				
					a (良い) ・	o (普通) ・ c(:	少し悪い)・ d (悪い) ・	e(枯死) (落葉期)		
		傷口	口材の成長		a (良い)	· b (普通) ·) · e (なし)			
		病智			有	病名				
		虫害		(#)	有	虫名				
				部の腐朽(子実体)	(#)	有[]	(子実体:)	地上部の弱点写真(イラスト)		
			②樹皮を巻き込んだ結合		(#)	有[]		_		
		部		③穿孔害虫		有[]	(虫名:)			
			④枯れ枝⑥ ぶ、エバ	1 4+	(1)	有[]				
	枝		⑤ぶら下がり		(B)	有[]	/3中4.			
地		14	の腐朽・空冲の亀裂	同・樹皮の枯死等	(#)	有[]	(子実体:)	-		
上				ライオンテイル)	(#) (#)	有[] 有[]		-		
部			9主幹切断部		(有[]		+		
の		M-IX	-	1. c 1 184 C .	~		=1 ()	別紙		
弱			①開口空洞	/+ \	無		崔] (大きさ:30×15cm 深:30cm∼	7		
点		+	②腐朽(子実 ² ③亀裂	华/	#	有[] 有[]		-		
			● 电表④ 樹皮枯死・	・ ケ 掲	無	創 小]	大枝剪定部	-		
	幹		⑤隆起	八民	(#)	有[]	N.K.S.C.III	1		
			⑥打診音異常		(有[]		1		
			⑦不完全な約		(有[]		1		
		昆虫	8昆虫		(#)	有[]	(虫名:)			
					無	(利 小]	(子実体: ペッコウタケ※)	地下部の弱点写真(イラスト)		
			②鋼棒貫入異常		無	(有[]	(車道側 貫入深:90cm)			
		本	③根株の切断	f	(#)			1		
	根	14	④カードリングルート ⑤緑エの巻き込み		無	1 小]		1		
	株		⑤縁石の巻き	シシャ	(#)	有[]		7		
地		基	⑥樹体の揺れ	ı	無	創 小]				
上			⑦土壌との隙間		(#)	有[]				
部		昆虫	8昆虫		(#)	有[]	(虫名:)			
の		露	①露出根のな	刀断	無	(1) 小]		別紙		
弱			②露出根の腐		無	(1 小]		<u>]</u>		
点			③露出根皮の		(有[]		_		
	根		④土壌の盛り		(B)	有[]				
	系		⑤特殊な植栽		(#)	有[]		4		
			⑥土壌の流出		(有[]		4		
		根	⑦土壌の固結 ⑧国辺工事の影響		(#)	有[]		-		
m7 (1			⑧周辺工事の影響			有[]	<u> </u>			
野生	E虭′	杒の	利用			T				
4.1	4cp	. /	生育状況	С	~=	大枝の剪定跡が多数あるが被覆材の巻込みは見ら				
外	観評	ř1曲	危険度	D	所見 れが見られる。過去に根元付近でベッコウタケリ、開口空洞化している。昨年度調査から幹の					
詳										
	地」	上部	腐朽割合			別途γ線診断	次回の診断時期			
診断	th-	下部	健全材厚の割合			別途根系堀上調	-			
	総合評価		根系の腐朽割合		武日					
			別途調査と合わせ評価		所見	別途調査と合わせ	計刊 四			
改善	售的:	措置			所見					

路線名

調査年月日: 2020年12月17日

調査者: 樹種名

(街路樹診断協会) ユリノキ

樹木番号 GAUH0113-015 ③ (車道側)

国道20号(内堀通り)





① 幹下部の開口空洞



② 幹樹皮欠損 (大枝剪定部)





③ 根株鋼棒貫入異常(1m鋼棒が90㎝貫入し開口空洞まで貫通)



④ ガードリングルート



⑤ 過去に切断されたと見られる縁 石側支持根(腐朽あり)

根株・根系腐朽調査票

測定年月日: 2020年 12月 17日

場所	国道20号(内堀通り)	樹木No.	GAUH0113-015	樹 種	ユリノキ
掘削機器	ショベル・移植ごて等		掘削範囲		1.6m× 約4m× 深約0.3m
調査者	(街路樹診断協会)				

樹木写真





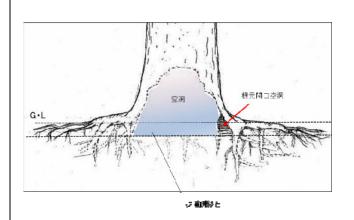


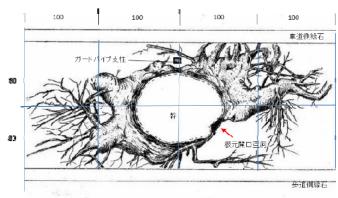
掘削調査図

推定断面図

平面図

掘削状況写真





55 **(46**)

・支持根は縦断方向に伸び、親指程度の太さの細根が多数発生している。歩道側の支持根には切断痕があり、細い支持根が縁石の間に伸びている。

車道側には支持根がなく、車道方向からの風に対する抵抗力が低いことが伺われる。

- ・根系は垂直方向の厚みが薄く皿形と見られる。腐朽により樹体下部が空洞化しており、垂下根が確認できない。
- ・腐朽の開口空洞は、樹体内部に大きく広がっている。支持根の2箇所に腐朽が確認された。
- ・根株からの側根の厚みが肥大し地表に盛上り、一部が歩道側縁石と舗装を押上げている。植栽帯の狭小化に加え、下層土壌が固く根系が十分に生長できないことも要因の可能性がある。
- ・外観診断で樹体の揺れが確認されたことからも、全体に根系の支持力が不十分であると考えられる。

特記事項

調査年月日:

2020年12月17日

路線名 国道20号(内堀通り) 樹木番号 GAUH0113-015 樹種名 ユリノキ



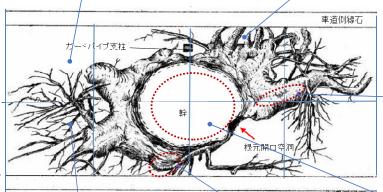
地表部付近の細根は枯損した状態



根株下部は空洞化し、鋼棒が貫通する



支持根下部は腐朽発生



北西方向への支持根

歩道:削縁石 腐朽が想定される範囲



地表付近の細根は枯損した状態



歩道縁石部は過去に切断されたと見られる



支持根付近に腐朽が発生し鋼棒貫入(30cm)



腐朽による空洞部(高さ40cm程度)



空洞部内側の状況 腐朽した材が見える

貫入抵抗値調査票

測定年月日: 2020年12月17日 場所 国道20号(内堀通り) 樹種 ユリノキ 樹木No. GAUH0113-015 街路樹診断協会 樹木写真 測定者 所属 使用機種 レジストグラフ 測定位置 図示 測定位置および厚さ No.2 23cm No.4 8cm (直径約16 cm 下 部に腐朽) No.3 22cm(下部 No.1 12cm に腐朽部の可能性) 出力データ No.1 No.2 No.3 No.4

街路樹診断カルテ(健全度調査)

調査年月日:

2020年12月17日

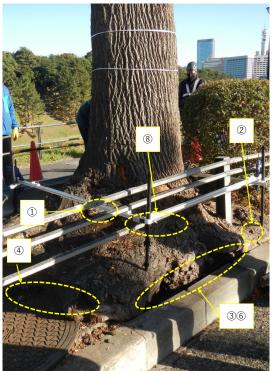
調査者:

(街路樹診断協会)

								_	(街路倒診断脇宏)	
基	路線	泉名		国道20号(内堀通	19)	樹木番号	GAUH0115-006		全景写真	
本	樹種	重名		ユリノキ	リノキ		東京都千代田区			
情	植栽年								# 54	
		里履月				前回調査年 樹木価値 街路樹・景観			The second second	
IIA										
		樹高	1			15 1		***		
		幹周	引(幹径)			2.38(0.76) m		A STATE OF THE STA	
		枝引	₹ ()			10 1	n		細さく入れて	
	樹					歩道 5m・車		10000000000000000000000000000000000000		
	木形	枝丁			_					
		个目	目然な傾斜		(#)	有				
生	状	樹高	5/幹径			15 / 0.76				
育		枝長/枝径 樹齢				_	Was Land We Williams			
状						_				
況		樹冠形状								
沅										
	洪	樹奓	4		a(良い)	· (b) (普通) ·	c (少し悪い) · d (悪い)	e(枯死)	
	活 -	葉の生育状況			a(良い)	b (普通)・	c (少し悪い) ・ d (悪い)	・ e (枯死) (落葉期)	
	力		対の成長		a (良い)	· (h) (普诵) ·	c (少し悪い) · d (悪い)	・ e (なし)	
	状			(#)	有	病名		,0,- ,		
	況	病目		×						
		虫智		(#)	有	虫名				
		結	①幹との結合	部の腐朽(子実体)	(#)	有[]	(子実体:)		地上部の弱点写真(イラスト)	
		合		き込んだ結合	(#)	有[]	,			
			③穿孔害虫		((由夕・)			
						有[]	(虫名:)			
			④枯れ枝		(#)	有[]				
	枝	本	⑤ぶら下がり	り枝	(#)	有[]				
		体	⑥腐朽・空洞	同・樹皮の枯死等	(#)	有[]	(子実体:)			
地			⑦亀裂		(#)	有[]	,			
上										
部		$\overline{}$		ライオンテイル)	(#)	有[]				
		頂上枝	⑨主幹切断部	部の腐朽	(#)	有[]			DIAL	
の			①開口空洞		(#)	有[]	(大きさ:)		別紙	
弱				(+)						
点			②腐朽(子実	14)	(#)	有[]	(子実体:)			
		本	③ 亀 裂		(#)	有[]				
		結合(④樹皮枯死	・欠損	(#)	有[]				
	幹		⑤隆起		(#)	有[]				
			⑥打診音異常	÷		有[
			⑦不完全な終	古台	(#)	有[]				
		昆虫	⑧昆虫		(#)	有[]	(虫名:)			
		①腐朽(子実		体)	無	(有[大]	(子実体: コフキタケ)		地下部の弱点写真(イラスト)	
			②鋼棒貫入乳			有 小]	(貫入深:最大30cm)	18 1 AF 7 35 M 3 SC (1 3 3 1 1)	
		本			無	\simeq		,		
		体	③根株の切り		無	(有) 大]	車道側			
	根		④カードリン	ングルート	無	1 (1)				
	株		⑤縁石の巻き	き込み	無	(有[大]	歩道側 (押出含む)			
地		基	<u>-</u> ⑥樹体の揺れ	ı	(#)	有[]				
		_	⑦土壌との		(
上				示[単]		有[]	() - 6			
部		昆虫	⑧昆虫		(<u>#</u>)	有[]	(虫名:)			
の		出	①露出根のも	刃断	無	旬 小]	車道側		別紙	
弱	根系		②露出根の原		無	1 小]	子実体有(コフキタグ	r)		
点							」大作(コノイダク	,		
			0.2.	の枯死・欠損	無	(有) 小]				
			④土壌の盛り	り上がり	(#)	有[]				
			⑤特殊な植栽	战基盤	(#)	有[]				
		中	⑥土壌の流出	Ł	<u></u>	有[]				
		根			<u> </u>					
			⑦土壌の固結			無 有[] 歩道補修				
			⑧周辺工事の影響		無	有 小]				
野生	三動物	物の	利用							
						車道側緑石工車 に	よると思われる規模切断而か	らの空間	司が大きく鋼棒貫入昇堂がある?とから府 ¹	
			生育状況	В		車道側縁石工事によると思われる根株切断面からの空 朽の可能性がある。根元部露出根に大きなコフキタケ				
外征	観評価				所見	朽の可能性がある。根元部露出根に大きなコフキタケ カス 根元のコフキタケの活動が活発であり 成長拡				
			危険度	D		れる。根元のコフキダケの活動が活発であり、成長払			、。元日、シャ・ド下区町且かり行り店人	
=+					は見られない。				VE	
詳細	抽 l	一部	腐朽割合		別途γ線診断を実施				次回の診断時期	
		生部健全材厚の割合		訓合						
	地丁	下部	根系の腐朽割合		別途根系堀上調査を実施					
総合	部件	曲	別途調査と食	かせ評価	所見	別途調査と合わ	せ評価			
改善	E 的 t	# 署								
-V.=	4 H J J	口匠				<u> </u>				

路線名 国道20号(内堀通り) 樹木番号 GAUH0115-006 樹種名 ユリノキ







①コフキタケ子実体 (根株)



②コフキタケ子実体 (露出根)



③鋼棒貫入異常(車道側)



④巻き込み (ハンドホール)



⑤ガードリングルート



⑥根株・露出根の切断部(縁石沿い) *切断部から腐朽による空洞がある



⑦押出・持上げ (縁石)



⑧露出根皮の枯死・欠損



⑨周辺工事の影響 (歩道改修)

根株・根系腐朽調査票

測定年月日: 2020年 12月 17日

場所	国道20号(内堀通り)	樹木No.	GAUH0115-006	樹	種	ユリノキ
掘削機器	ショベル・移植ごて等		掘削範囲			1.6m× 約4m× 深約0.3m
調査者	(街路樹診断協会)					

樹木写真





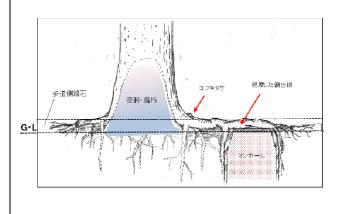


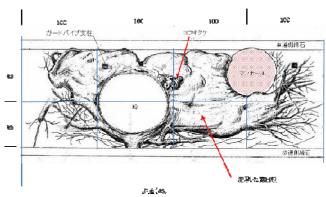
掘削調査図

推定断面図

平面図

掘削状況写真





・支持根は縦断方向に伸び、多くの細根が発生している。

- ・車道側の縁石工事によると思われる露出根の切断があり、車道側から腐朽による空洞が幹の深部へ広がっている。
- ・根元の腐朽範囲は車道側から子実体の発生箇所が主体と見られる。
- ・歩道の縁石が持ち上げられているが、歩道方向への支持根は確認できない。
- ・根株下の垂下根は確認できない。根株は水平方向に拡がっているが厚みが薄いと見られる。
- ・コフキタケ子実体は成長・拡大しており、腐朽が進行している可能性がある。
- ・根株からの側根の厚みが肥大し地表に盛上り植樹帯内に充満し、一部が歩道側縁石と舗装を押上げている。植栽帯の狭小化に加え、下層土壌が固く根系が十分に生長できないことも要因の可能性がある。
- ・ガードパイプ、マンホールへの巻き込みがあり、構造物撤去にともなって将来根系が損傷することが懸念される。

特記事項

一部の根は縁石下に潜り込んだ形になっている

調査年月日:

2020年12月17日

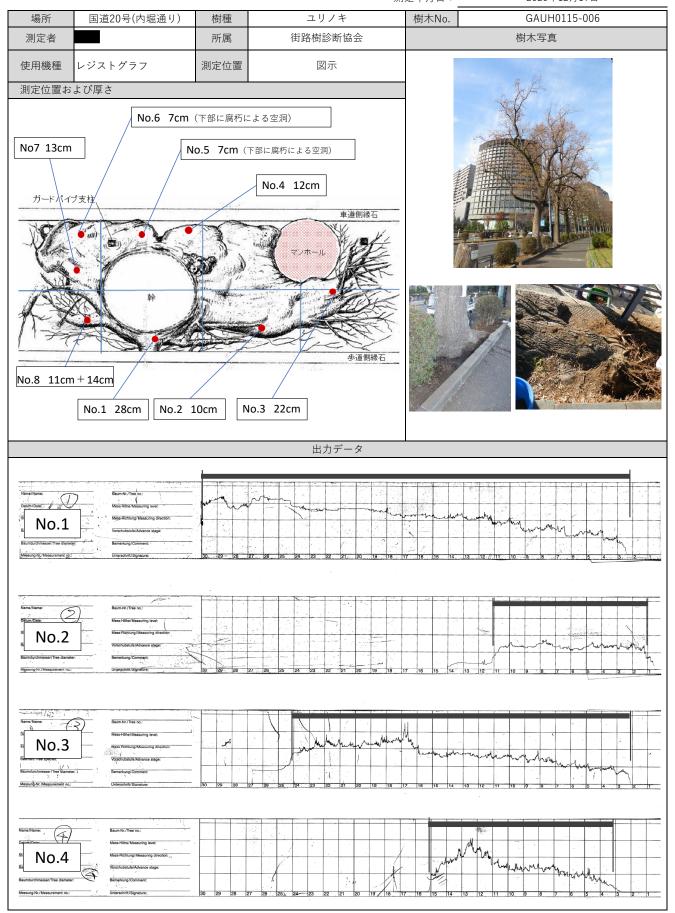
国道20号(内堀通り) GAUH0115-006 樹種名 路線名 樹木番号 ユリノキ 車道側根系は切断痕・腐朽 南側支持根には障害は見られない 露出根のコフキダケ子実体 による空洞が見られる 車道側縁石 マンホールの巻き込み 歩道側縁て 腐朽が想定される範囲 支持根からの細根の発生 南側支持根には障害は見られない

歩道縁石の押出

貫入抵抗値調査票

測定年月日:

2020年12月17日



貫入抵抗値調査票

測定年月日:

2020年12月17日

